



静岡市

環境保健研究所

だより

☆ 表紙	1
☆ マダニが媒介する感染症について	2

静岡市環境保健研究所

静岡市環境保健研究所だより
令和2年度 秋・冬号
(令和2年10月発行)

発行者
静岡市環境保健研究所 八木 謙二
編集 前畑

マダニが媒介する感染症について

マダニは様々な感染症の原因となる病原体を保持しています。ダニという名前がついていますが、「マダニ」は森林や草原など屋外に生息する比較的大型のダニであり、小麦粉等に発生する「コナダニ」やじゅうたん等に発生する「ヒョウヒダニ」など住宅内に生息するダニとは種類が異なります。

マダニは野生動物に咬み付いて吸血をする際に、保持している病原体を感染させます。ヒトに対しても同様で、肌を露出して森林等を歩いたり、農作業を行っている際に咬み付いて吸血を行います。

ただし、すべてのマダニが病原体を保持しているわけではなく、マダニの中でも一部が病原体を保持しています。また、マダニが媒介する感染症は、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザのように人から人に感染して広がるものではなく、水や空気などを介して感染することはありません。

感染症の種類

マダニが媒介する感染症には、以下のようなものがあります。

(1) 日本紅斑熱

マダニが保有しているリケッチアの一種リケッチア・ジャポニカ (*Rickettsia japonica*) を原因とする感染症です。2017年から年間で300件ほど報告されています。マダニに咬まれてから2～8日で発症し、発熱・発疹・頭痛・倦怠感などを主症状とします。感染初期に適切な抗菌薬を投与すれば非常に高い効果が望めますが、適切な抗菌薬を投与されない場合は死に至ることもあります。発症者、死亡者ともに高齢者が多く、2009年から2017年の発症者の年齢中央値は71歳でした。

効果的な抗菌薬はわかっていますが、ワクチンなどは存在しません。このため、予防するためにはマダニに咬まれないことが大切になります。万が一、マダニに咬まれた後に体調不良になった場合には、マダニに咬まれたことを医師に伝えることが治療につながるため重要となります。

(2) SFTS(重症熱性血小板減少症)

マダニが保有しているブニヤウイルス科フレボウイルス属のSFTSウイルスを原因とする感染症です。2011年に中国から報告された感染症で、日本国内でも2013年に国内で感染した症例が報告されました。それ以降も、患者の発生が続いています。2020年5月17日時点で517例(死亡例70例)が報告されています。日本紅斑熱と同様に高齢者に発症者が多く、発症者の年齢中央値は75歳でした。

マダニに咬まれてから6～14日で発症し、発熱・発疹・頭痛・倦怠感などを主症状とします。発熱、消化器症状(嘔吐、腹痛など)を主症状として、ときに、腹痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴います。

効果的な治療薬やワクチンなどは見つかりません。日本紅斑熱と同様に予防するためにはマダニに咬まれないことが大切になります。

(3)その他

前述した2つの感染症が最近注目を集めていますが、それ以外にもマダニが媒介する感染症は存在します。

●ライム病

ボレリア属の細菌が原因となる感染症で、日本よりも欧米で患者が多い感染症です。ミュージシャンであるジャスティン・ビーバー氏が感染したことでも話題を集めました。

日本国内では、北海道からの報告が多く、主な症状は発熱、倦怠感、慢性遊走性紅斑があり、まれに心筋炎・髄膜炎がみられます。

●ダニ媒介脳炎

フラビウイルス科フラビウイルス属のウイルスであるダニ媒介脳炎ウイルスが原因となる感染症です。日本では北海道を中心に数例が報告されていますが、世界では中央ヨーロッパ等を中心に1年で1万件以上の報告がある比較的メジャーな感染症です。

主な症状は、発熱、筋肉痛、麻痺、意識障害、けいれん、髄膜炎、脳炎等があります。

マダニの調査

静岡市内では近年、日本紅斑熱等のマダニ媒介感染症の報告はありませんが、静岡県内では日本紅斑熱の患者が毎年報告されています。当所でも、いつでも検査が出来るように体制を整えているほか、マダニを捕獲し、保有しているリケッチアやウイルスが検査できることも確認しています。静岡市内のハイキングコース等で、不定期ですがマダニの捕獲調査を行っています。



マダニ捕獲の様子。
白い布で出来た旗を用いてマダニを捕獲します。マダニは旗を動物と勘違いして飛びついてきます。



実際に旗に付着したマダニの様子

参考文献

- ・国立感染症研究所HP(日本紅斑熱・SFTS・ダニ媒介脳炎・ライム病)
- ・ダニ媒介感染症に係る注意喚起について(厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡)
- ・厚生労働省HP(重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について・ダニ媒介脳炎に関するQ&A)